



KANOMAX
The Ultimate Measurements

0.1 μ m パーティクルカウンター 計測ソフトウェア for Windows

Model 3950

取扱説明書

目次

第 1 章	概要	3
第 2 章	ソフトウェアのセットアップ	4
第 3 章	本体の設定	7
第 4 章	ソフトウェアの使用方法	13
4.1	ソフトウェア起動(メイン画面)	13
4.2	計測フロー	14
第 5 章	ファイル	16
5.1	開く	16
5.2	保存	17
5.3	終了	17
第 6 章	設定	18
6.1	通信方式の選択	18
6.2	IP アドレスの設定	19
6.3	RS485 の設定	20
第 7 章	計測パラメータの設定及び計測開始	21
7.1	計測パラメータ設定	21
7.2	計測開始	22
7.3	計測停止	22
第 8 章	表示	23
8.1	粒子グラフパラメータの設定	23
第 9 章	ヘルプ	24
9.1	バージョン情報	24
第 10 章	データ表示ソフトウェア：計測画面	25
10.1	データ表示ソフトウェア：計測画面	25
第 11 章	通信設定	28
11.1	通信方式の選択	28
11.2	IP アドレスの設定	29
11.3	RS485 の設定	30
第 12 章	計測設定	31
12.1	計測モード設定画面	31
12.2	計測モード	32
12.3	計測開始	35

12.4 計測終了、停止	35
第 1 3 章 困ったら.....	36
第 1 4 章 連絡先.....	38

第1章 概要

本マニュアルは 0.1 μ m-パーティクルカウンター計測ソフトウェアについて記述しています。本ソフトウェアは 0.1 μ m-パーティクルカウンター本体のリモート計測と計測データの表示および (*.CSV) 形式でのデータの保存を行います。

1) ソフトウェア仕様

項目	内容
OS	Microsoft Windows 10
言語	英語、日本語
通信方式	TCP/IP(有線)、シリアル通信

2) 動作環境

OS	Microsoft Windows 10
インターフェース	イーサネット、RS485
RAM	4GB 以上
HDD 容量	500MB 以上の空き領域
対応本体	3950

第2章 ソフトウェアのセットアップ

1) ソフトウェアセットアップ前に他のプログラムを終了してください。CD 中の Japanese フォルダを開き、

その中の  32bit または、 64bit を開きます。(インストールする Windows10 のシステムに合わせて選択してください。)



セットアップファイルがありますので、ダブルクリックしてください。図 2-1 が表示されます：

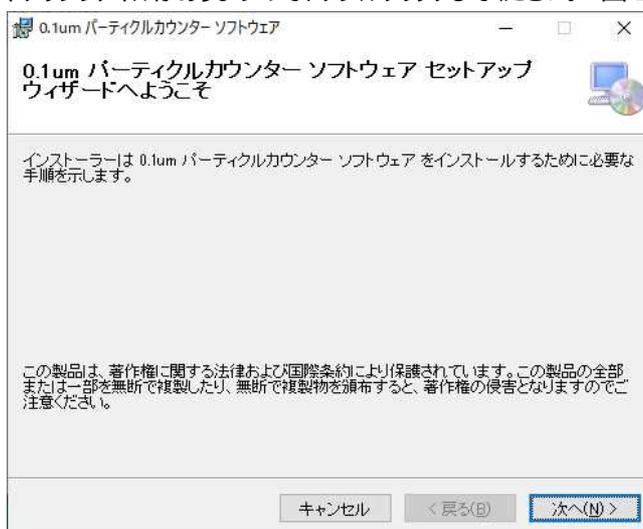


図 2-1 セットアップ初期画面

2) 次へ (N) をクリックすると、図 2-2 が表示されます。標準のインストール先は C ドライブですが、「参照」をクリックすると、インストール先のドライブやフォルダを変更できます：

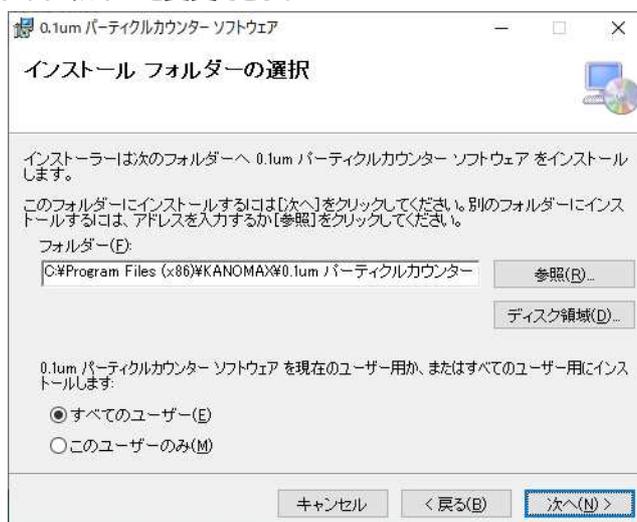


図 2-2 インストール先フォルダ選択画面

3) 次へ (N) をクリックすると、図 2-3 が表示されます :

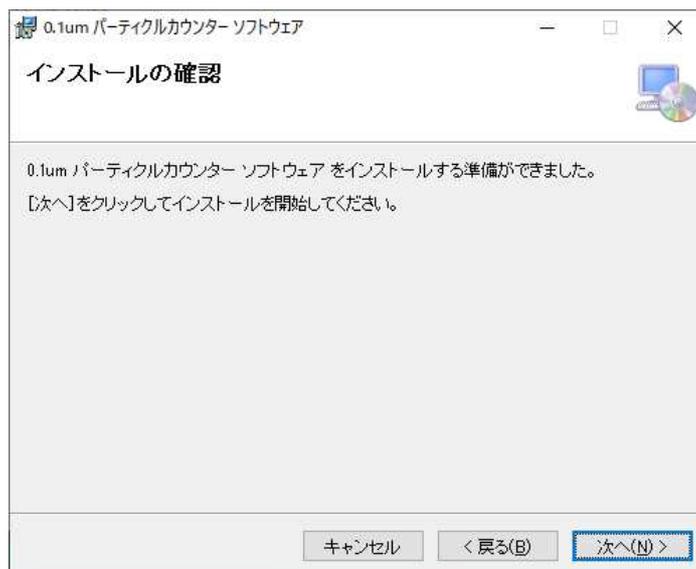


図 2-3 インストールの確認画面

4) 次へ (N) をクリックすると、図 2-4 が表示されます :

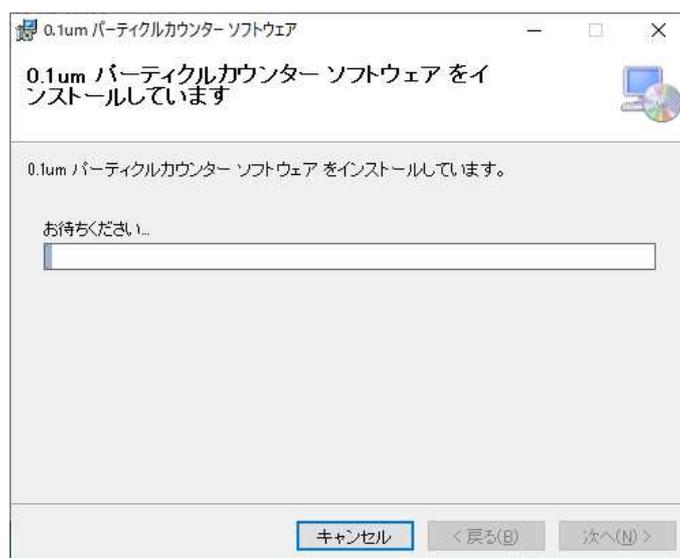


図 2-4 インストール中画面

5)インストールが完了すると、図 2-5 が表示されます：

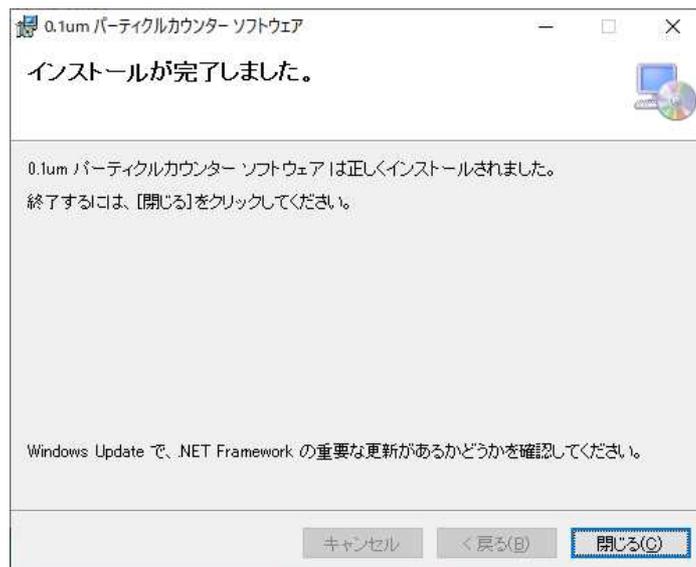


図 2-5 インストール完了画面

6) 閉じる (C) ボタンでセットアップを終了します。

第3章 本体の設定

1) 本体通信設定

ステップ 1	ステップ 2
<p>本体電源を起動して、メイン画面を表示します。</p> 	<p>メイン画面の計測設定ボタンをタップし、計測設定画面を表示します。</p> 

ステップ 3	ステップ 4
<p>設定画面のリモートモードボタンをタップし、次の画面を表示します。</p> 	<p>設定ボタンをタップしてリモート設定画面が表示します。</p> 

ステップ 5	
通信方式の選択と通信パラメータを設定します。	
イーサネット	RS485
	

ステップ 6	ステップ 7
<p>チェックボタンで設定完了、戻るボタンで前のページに戻ります。</p>	<p>接続ボタンで接続すると、リモート計測画面が表示されます。</p>
	

2) ハードウェアの接続

- **本体と PC を直接接続するイーサネット接続** : クロス LAN ケーブルで下記のように接続します。

リモート設定>イーサネット	通信パラメータ
	ポート番号 : 502 IP アドレス : 192.168.5.11 サブネットマスク : 255.255.255.0 ゲートウェイ : 0.0.0.0



図 3-1

本体と PC を直接接続する場合、PC の IP アドレスを変更する必要があります。

- 1) コントロールパネルを開きます。
- 2) 「ネットワークとインターネット」をクリックします。



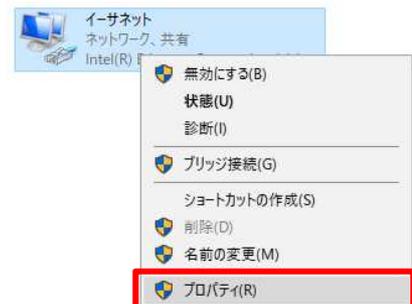
- 3) 「ネットワークと共有センター」をクリックします。



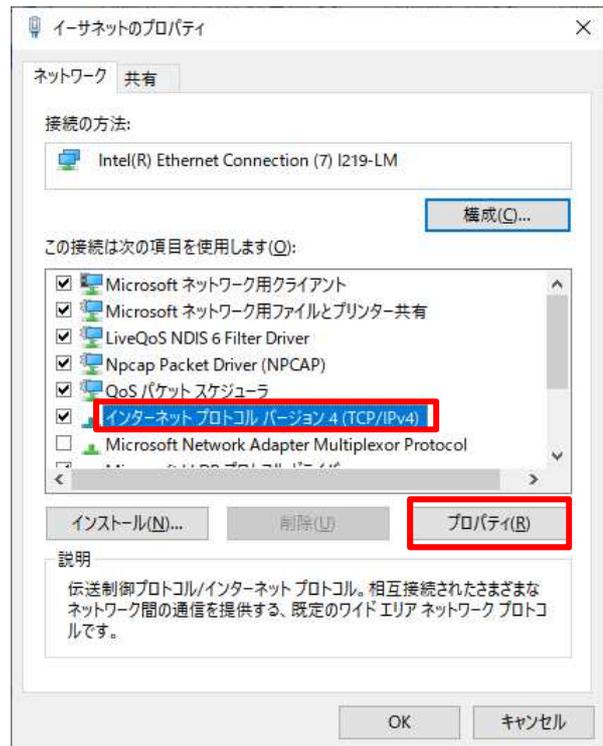
- 4) 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



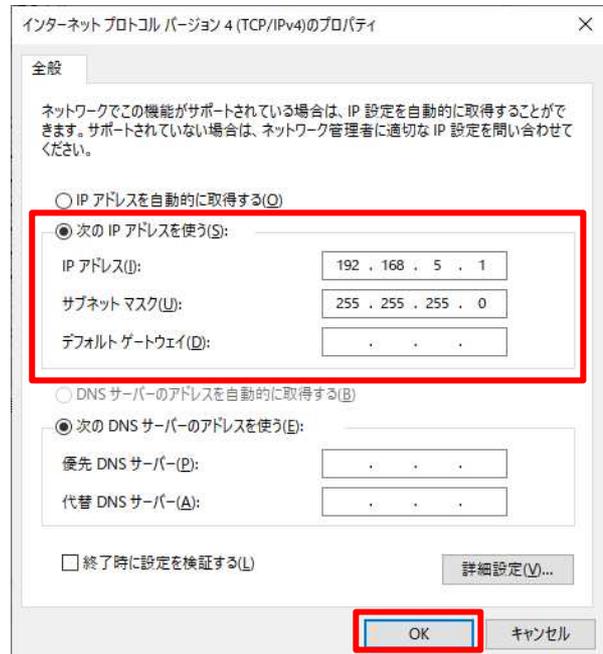
- 5) 設定を変更するイーサネットのネットワークのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



6) 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティをクリックします。



7) 「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れ、「IP アドレス」に「192.168.5.1」、「サブネットマスク」に「225.255.255.0」を入力して、「OK」をクリックします。



8) 開いた画面をすべて閉じてください。

- LAN ネットワークを用いるイーサネット接続：LAN ケーブルで下記のように接続します。

リモート設定>イーサネット	通信パラメータ
自動 <input checked="" type="checkbox"/> :チェック	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをネットワークから自動で取得
自動 <input type="checkbox"/> :チェックなし	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力

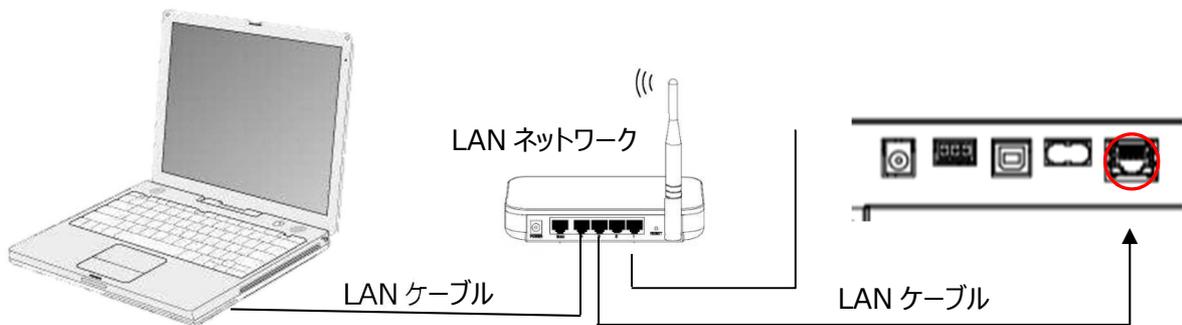


図 3-2 本体を一台接続する場合

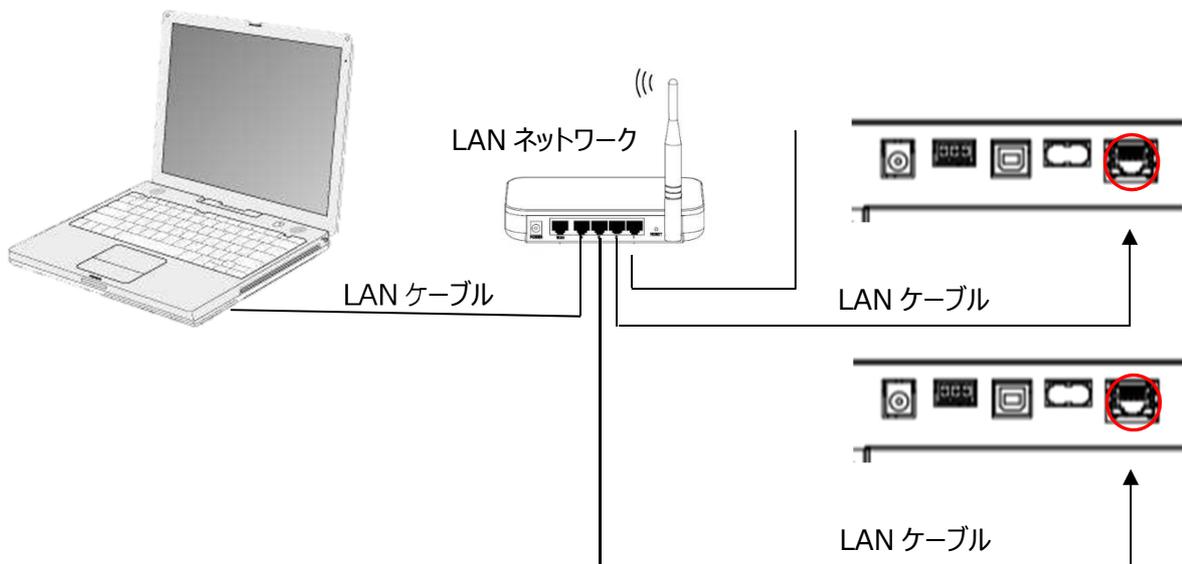


図 3-3 本体を複数台接続する場合

- **RS485 接続** : PC 側に RS485 通信ポートが無い場合、USB-RS485(2 線式)変換器を使用してください。

リモート設定>RS485	通信パラメータ
入力 あるいは 選択	ID 入力 ボーレート選択:9600,19200,38400 パリティ選択:なし,偶数,奇数 ストップビット選択:1,2

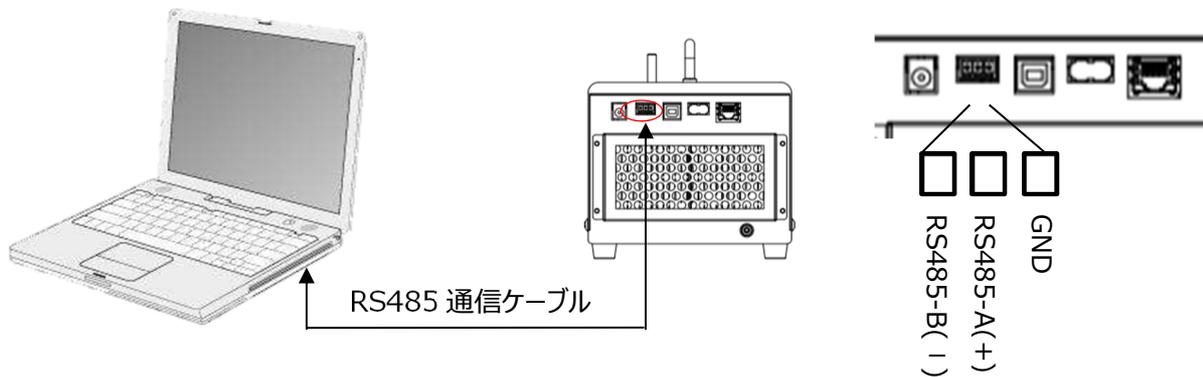


図 3-4 本体を一台接続する場合

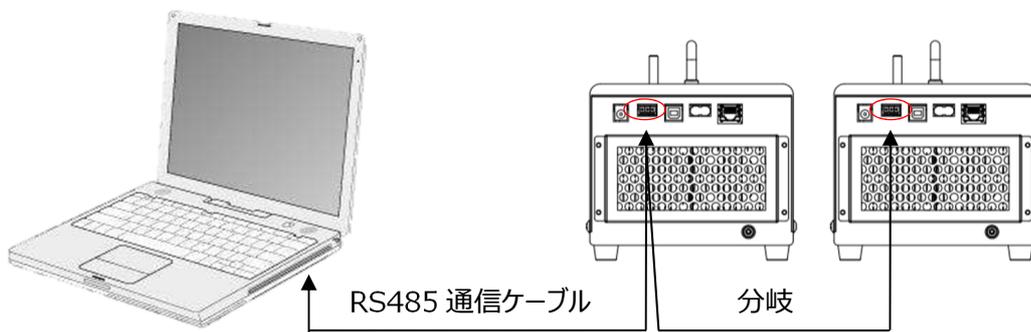


図 3-5 本体を複数台接続する場合

第4章 ソフトウェアの使用法

4.1 ソフトウェア起動(メイン画面)

スタートメニューのアイコン  をクリックして、ソフトウェアを起動します。図 4-1 が表示されます。

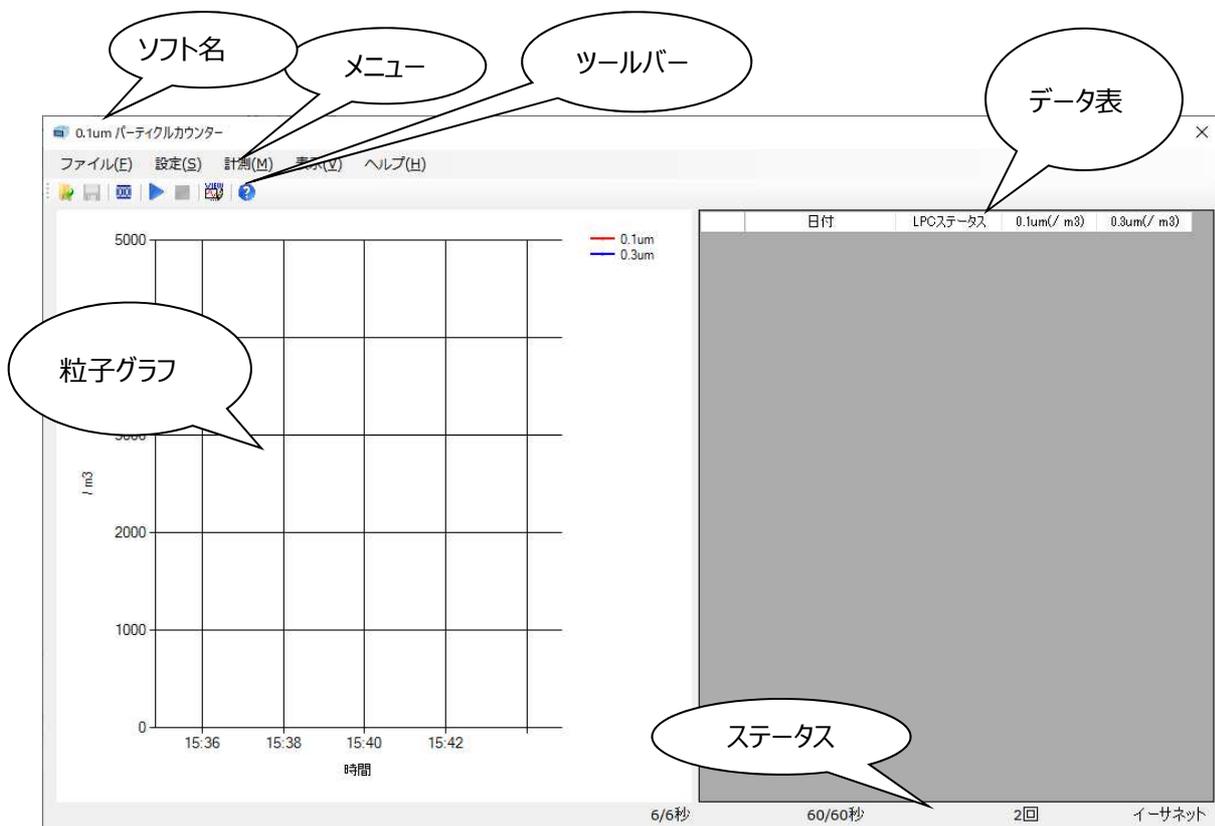


図 4-1 メイン画面

説明：

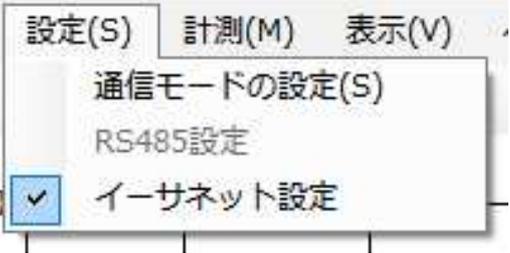
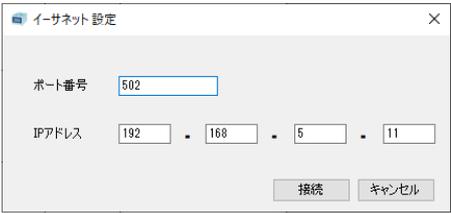
項目	内容
粒子グラフ	粒子カウント値のグラフ
データ表	粒子の計測データ
ステータス	下記表の内容

項目	内容
計測状態	サンプリング中、待ち
計測パラメータ	サンプリング時間、インターバル時間、サンプリング回数
通信方式	イーサネット、RS485

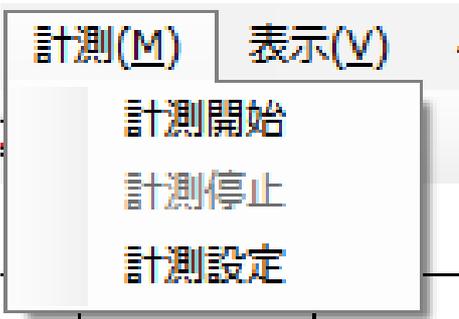
メイン画面を表示している状態で、キーボードの「Ctrl」+「D」を押すと、データ表示ソフトウェア：計測画面(第 10 章)が表示されます。詳細は、第 10 章を確認してください。

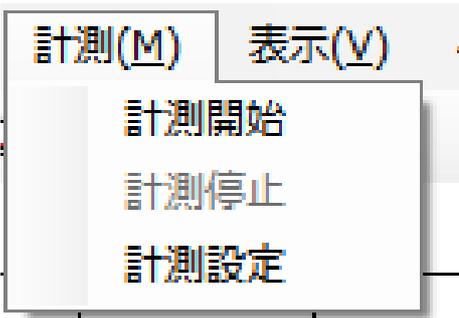
4.2 計測フロー

1)通信モードの設定をします。

STEP1		STEP2	
<p>設定メニューの通信モードの設定をクリックします。</p> 		<p>通信モードの選択をします。</p> 	
STEP3		STEP4	
イーサネット	RS485	<p>0.1μm-パーティクルカウンター本体がリモートコントロール待機の状態、接続ボタンを押して接続します。</p>	
<p>0.1μm-パーティクルカウンター本体のポート番号、IP アドレスを設定します。</p> 	<p>通信パラメータを設定します。</p> 		

2)計測を開始します。

STEP1	STEP2
<p>計測メニューの計測設定をクリックします。</p>  <p>The screenshot shows a menu with two tabs: '計測(M)' (Measurement) and '表示(V)' (Display). Under the '計測(M)' tab, three options are listed: '計測開始' (Start Measurement), '計測停止' (Stop Measurement), and '計測設定' (Measurement Settings). The '計測設定' option is highlighted with a white box.</p>	<p>計測パラメータの設定をします。</p>  <p>The screenshot shows a dialog box titled '計測パラメータ設定' (Measurement Parameter Settings) with a close button (X) in the top right corner. It contains the following fields and options:<ul style="list-style-type: none">サンプリング時間(6-3600秒): 8インターバル時間(1-1440分): 1サンプリング回数(1-3000): 2粒子設定 (Particle Settings):<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 0.1um<input checked="" type="checkbox"/> 0.3umAt the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.</p>

STEP3
<p>計測メニューの計測開始を押して、計測を開始します。</p>  <p>The screenshot shows the same menu as in Step 1. The '計測開始' (Start Measurement) option is now highlighted with a white box.</p>

第5章 ファイル

既存データファイルのオープン、データファイルの保存、アプリケーションの終了をこのメニューで行います。

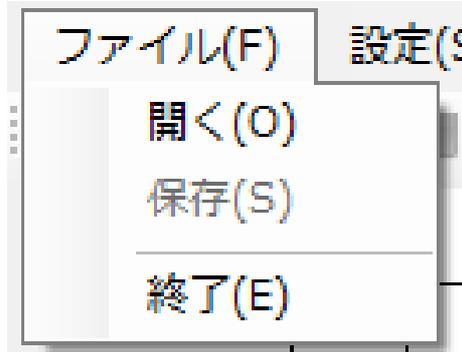


図 5-1 ファイルメニュー

5.1 開く

データファイル (*.CSV) を開くと、粒子グラフ、及び粒子データが表示されます。

ファイルメニューの **開く** **Ctrl+O** をクリックします。図 5-2 が表示されます。(ツールバーの ボタン、キーボード上の Ctrl+O キーも同じ機能です。)

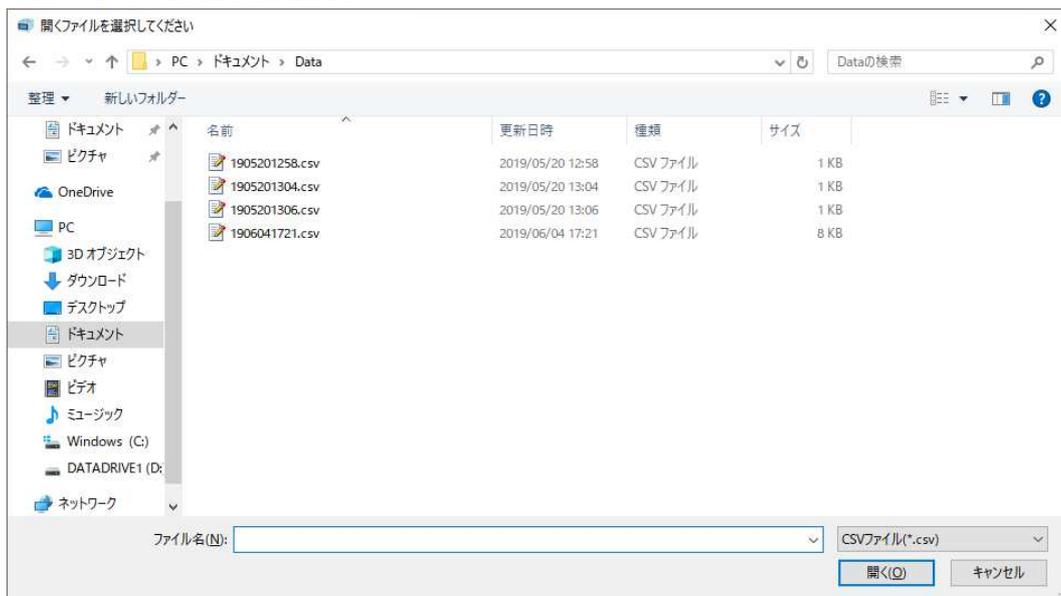


図 5-2 ファイル開くダイアログ

説明：

開く(O) : データファイルを表示します。

キャンセル : キャンセルします。

5.2 保存

計測データ、計測パラメータを保存します。（*.CSV形式）

ファイルメニューの上  **保存** **Ctrl+S** をクリックします。図 5-3 が表示されます。（ツールバーの  ボタン、キーボード上の Ctrl+S キーも同じ機能です）

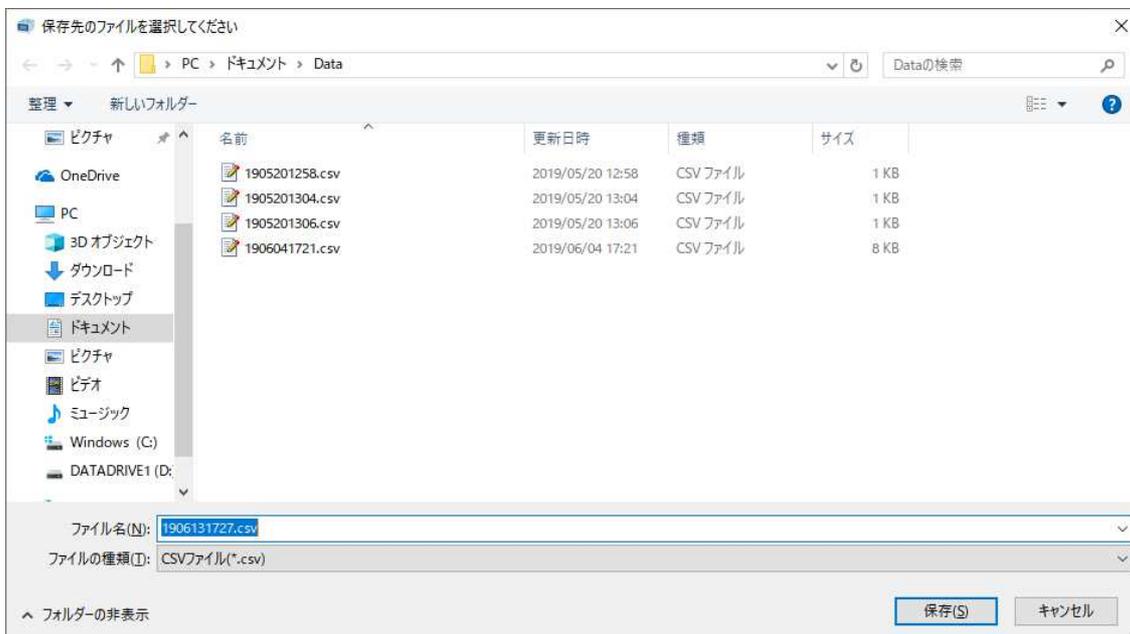
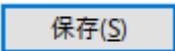


図 5-3 ファイル保存ダイアログ

説明：

 **保存(S)** : データファイルを保存します。

 **キャンセル** : キャンセルします。

5.3 終了

ファイルメニューの"終了"をクリックします。

第6章 設定

通信方式と通信パラメータを設定します。通信モードは計測開始前に選択します。

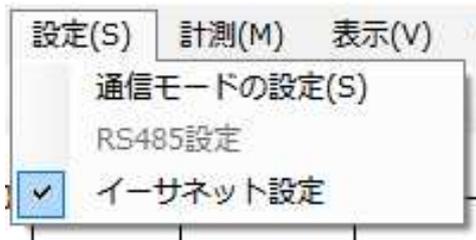


図 6-1 設定メニュー

6.1 通信方式の選択

設定メニューの“通信モードの設定”をクリックします。図 6-2 が表示されます。

(ツールバーの  と同じ機能です)



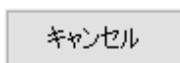
図 6-2 通信方式選択ダイアログ

説明：

イーサネット、RS485 を選択します。



：選択した通信モードのパラメータ設定画面を表示します。



：キャンセルします。

6.2 IP アドレスの設定

LAN ケーブルを使用して PC と 0.1 μ m-パーティクルカウンターと接続します。

イーサネット方式

設定メニューの“イーサネット 設定”をクリックします。図 6-3 が表示されます。

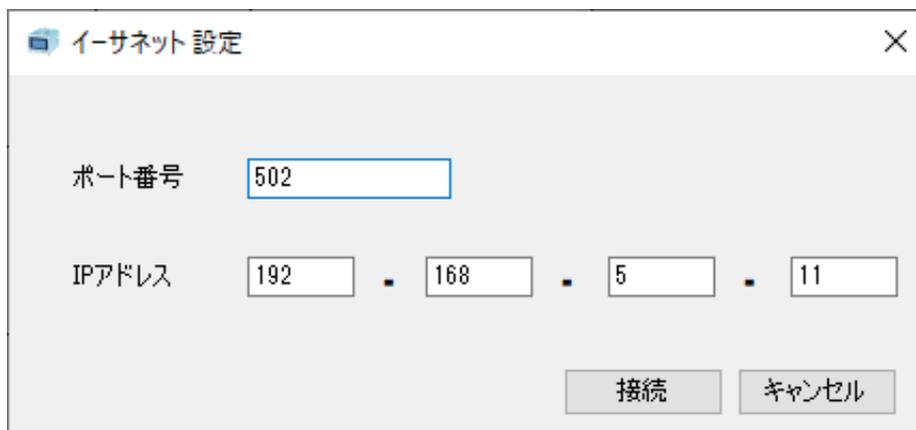


図 6-3 IP アドレス設定ダイアログ

1) パラメータ設定

0.1 μ m-パーティクルカウンター本体で設定したポート番号、IP アドレスを入力してください。

2) ボタン機能

接続

: パラメータを保存し、接続します。接続できた場合は、接続成功のメッセージが表示されます。接続失敗の場合は、接続失敗のメッセージを表示します。接続失敗する場合は、接続状態などを確認してください。

キャンセル

: キャンセルします。

6.3 RS485 の設定

設定メニューの “RS485 設定” をクリックします。図 6-4 が表示されます。

項目	内容
ポート	COM1
ID	1
ボーレート	19200
データビット	8
パリティ	偶数
ストップビット	1

図 6-4 RS485 設定ダイアログ

注意：ポート設定の時に、PCと本体接続する通信ポートを確認してください。

1) パラメータ設定

0.1µm-パーティクルカウンター本体で設定した通信パラメータを入力してください。

項目	内容	備考
ポート	COM1, COM2 …… COM255	選択可能
ID	1, 2 …… 247	入力可能
ボーレート	9600, 19200, 38400	選択可能
パリティ	なし、偶数、奇数	選択可能
データビット	8	固定
ストップビット	1, 2	選択可能

2) ボタン機能

接続

：パラメータ保存し、ポートを開きます。ポートが正常に接続された場合は、成功のメッセージを表示します。ポートエラーの場合は、失敗のメッセージを表示します。接続失敗する場合は、接続状態などを確認してください。

キャンセル

：キャンセルします。

第7章 計測パラメータの設定及び計測開始

計測パラメータの設定および計測開始、計測停止をします。



図 7-1 計測メニュー

7.1 計測パラメータ設定

計測メニューの“計測設定”をクリックします。図 7-2 が表示されます。



図 7-2 計測パラメータ設定ダイアログ

説明：

1) パラメータ設定

項目	内容	備考
計測時間	6—5999 秒	入力可能
繰り返し間隔	6—5999 秒	入力可能
繰り返し回数	1—9999 個	入力可能
計測粒径	0.1 μ m,0.3 μ m	選択可能

2) ボタン機能

- : 計測パラメータを保存します。
- : キャンセルします。

7.2 計測開始

計測メニューの“計測開始”をクリックします。(ツールバーの  ボタンも同じ機能です)

計測画面：

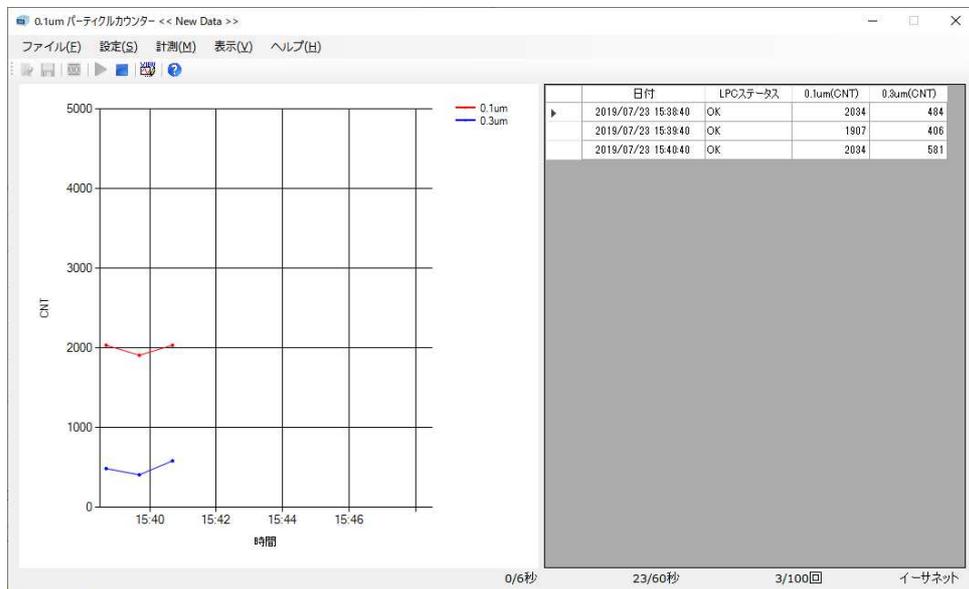


図 7-3 計測画面

7.3 計測停止

計測メニューの“計測停止”をクリックします。図 7-4 が表示されます。

(ツールバーの  ボタンも同じ機能です)

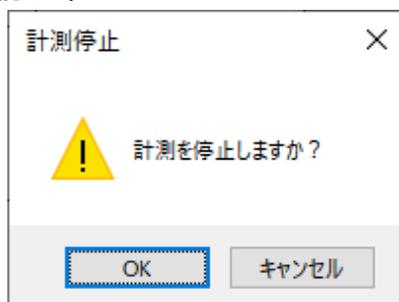


図 7-4 計測停止ダイアログボックス

説明：

-  : 計測を中止します。
-  : キャンセルします。

第8章 表示

粒子計数グラフの設定をします。

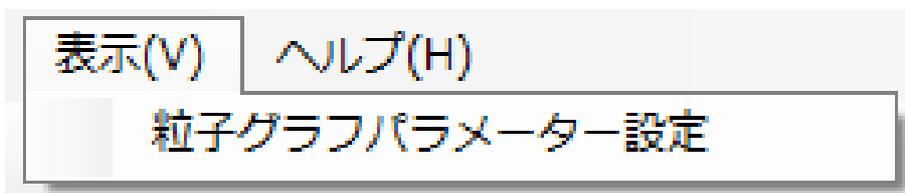


図 8-1 表示メニュー

8.1 粒子グラフパラメータの設定

表示メニューの“粒子グラフパラメータ設定”をクリックします。図 8-2 が表示されます。

(ツールバーの  ボタンも同じ機能です)

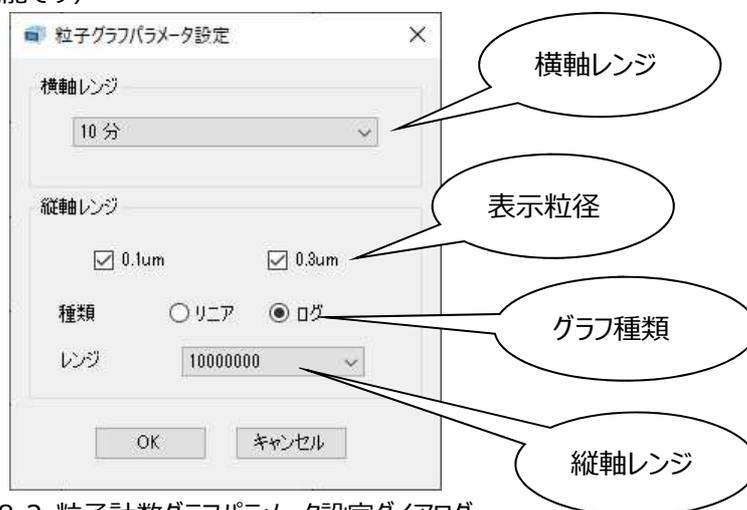


図 8-2 粒子計数グラフパラメータ設定ダイアログ

説明：

1) パラメータ

項目	内容	備考
横軸レンジ	1, 2, 3, 4, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60 (分)	選択可能
	3, 6, 12, 18, 24 (時間)	
	10, 20, 30 (日)	
表示粒径	0.1 μ m, 0.3 μ m	選択可能
グラフ種類	リニア、対数	選択可能
縦軸レンジ	10, 20, 50, 100, …… , 1.00E+9	選択可能

2) ボタン機能

 : パラメータを保存します。

 : キャンセルします。

第9章 ヘルプ

ソフトウェアの名称とバージョン情報を表示します。

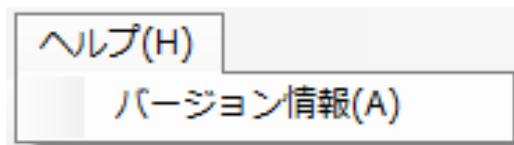


図 9-1 ヘルプメニュー

9.1 バージョン情報

ヘルプメニューの“バージョン情報”をクリックすると、図 9-2 が表示されます。



図 9-2 バージョン情報

第 10 章 データ表示ソフトウェア：計測画面

10.1 データ表示ソフトウェア：計測画面

メイン画面（第 4 章）を表示している状態でキーボードの「Ctrl」+「D」を押します。

0.1 μ m-パーティクルカウンター本体のメイン画面と、同様の画面で計測します。図 10-1 が表示されます。



図 10-1 データ表示ソフトウェア：計測画面

説明：

1) パラメータ

項目	内容
計測値	粒子の計測データ
場所番号	設定した場所(番号)
繰り返し回数	設定した繰り返し回数までカウントアップ
残り時間	次段階までの残り時間
計測モード	設定した計測モードを表示
テキストボックス	任意の文字を表示 (最大 500 文字)
保存チェックボックス	測定データの保存の要否を表示
接続 IP/ID 情報	イーサネット接続の場合 IP 情報を、RS485 接続の場合 ID 情報を表示

2) ボタン機能

- 計測開始** : 接続した本体全てで計測を開始します。
- 計測停止** : 接続した本体全てで計測を停止します。
- 計測設定** : モード設定画面(第 12 章)を表示します。
- 通信設定** : 通信モード選択画面(第 11 章)を表示します。

累計 Σ

: ボタンのある画面内の計測値を、「累計 Σ」と「差分 Δ」で切り替えます。



: ボタンのある画面内の計測を開始、または、停止します。



: ボタンのある画面内の計測設定を設定する、モード設定画面 (第 12 章)を表示します。

設定する本体の接続台数(最大 4 台)によって、計測画面の表示が変更します。

通信設定 (第 11 章) の **11.2 IP アドレスの設定**、もしくは、**11.3 RS485 の設定**の画面内にあるチェックボックスにチェックを入れ、「接続」ボタンをクリックすることで、本体の接続台数を設定及び変更ができます。



図 10-2 データ表示ソフトウェア : 計測画面(2 台接続時)

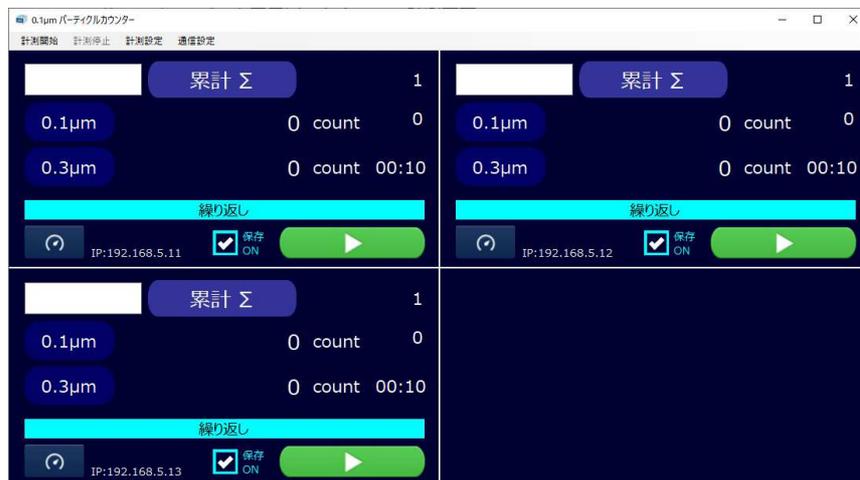


図 10-3 データ表示ソフトウェア : 計測画面(3 台接続時)



図 10-4 データ表示ソフトウェア：計測画面(4 台接続時)

データ表示ソフトウェア：計測画面を表示している状態で、キーボードの「Ctrl」+「D」を押すと、メイン画面(第 4 章)を表示します。メイン画面での操作は、第 4 章を確認してください。

第 1 1 章 通信設定

通信方式と通信パラメータ、本体の接続台数を設定します。通信モードは計測開始前に選択します。

通信設定

図 11-1 通信設定ボタン

11.1 通信方式の選択

計測画面の通信設定ボタンをクリックします。図 11-2 が表示されます。



図 11-2 通信方式選択ダイアログ

説明：

イーサネット、RS485 を選択します。

OK

：選択した通信モードのパラメータ設定画面を表示します。

キャンセル

：キャンセルします。

11.2 IP アドレスの設定

LAN ケーブルを使用して PC と 0.1 μ m-パーティクルカウンターを接続します。

イーサネット方式

図 11-3 が表示されます。

ポート番号	IPアドレス	IPアドレス	IPアドレス	IPアドレス	
502	<input checked="" type="checkbox"/> IPアドレス	192	168	5	11
	<input checked="" type="checkbox"/> IPアドレス	192	168	5	12
	<input checked="" type="checkbox"/> IPアドレス	192	168	5	13
	<input checked="" type="checkbox"/> IPアドレス	192	168	5	14

図 11-3 IP アドレス設定ダイアログ

1) パラメータ設定

IP アドレスのチェックボックスにチェックを入れることで、IP アドレスを入力できるようになります。

接続したい本体の台数分、チェックを入れてください。

0.1 μ m-パーティクルカウンター本体で設定したポート番号、IP アドレスを入力してください。

2) ボタン機能

接続

: パラメータを保存し、接続します。接続できた場合は、接続成功のメッセージが表示されます。接続失敗の場合は、接続失敗のメッセージを表示します。接続失敗する場合は、接続状態等確認してください。

キャンセル

: キャンセルします。

11.3 RS485 の設定

図 11-4 が表示されます。



図 11-4 RS485 設定ダイアログ

注意：ポート設定の時に、PCと本体が接続する通信ポートを確認してください。

1) パラメータ設定

ID のチェックボックスにチェックを入れることで、ID を入力できるようになります。

接続したい本体の台数分、チェックを入れてください。

0.1 μ m-パーティクルカウンター本体で設定した通信パラメータを入力してください。

項目	内容	備考
ポート	COM1, COM2 …… COM255	選択可能
ID	1, 2 …… 247	入力可能
ボーレート	9600, 19200, 38400	選択可能
パリティ	なし、偶数、奇数	選択可能
データビット	8	固定
ストップビット	1, 2	選択可能

2) ボタン機能

接続

：パラメータを保存し、ポートを開きます。ポートが正常に接続された場合は、成功のメッセージを表示します。ポートエラーの場合は、失敗のメッセージを表示します。接続失敗する場合は、接続状態などを確認してください。

キャンセル

：キャンセルします。

第12章 計測設定

計測モードの各パラメータの設定をします。



図 12-1 計測設定ボタン

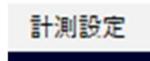


図 12-2 一括計測設定ボタン

12.1 計測モード設定画面

計測画面の個別計測設定ボタン、もしくは、一括計測設定ボタンをクリックします。図 12-3 が表示されます。

個別計測設定ボタンをクリックした場合は、図 12-4 のように、ウィンドウ名に IP 情報か ID 情報が表示されます。

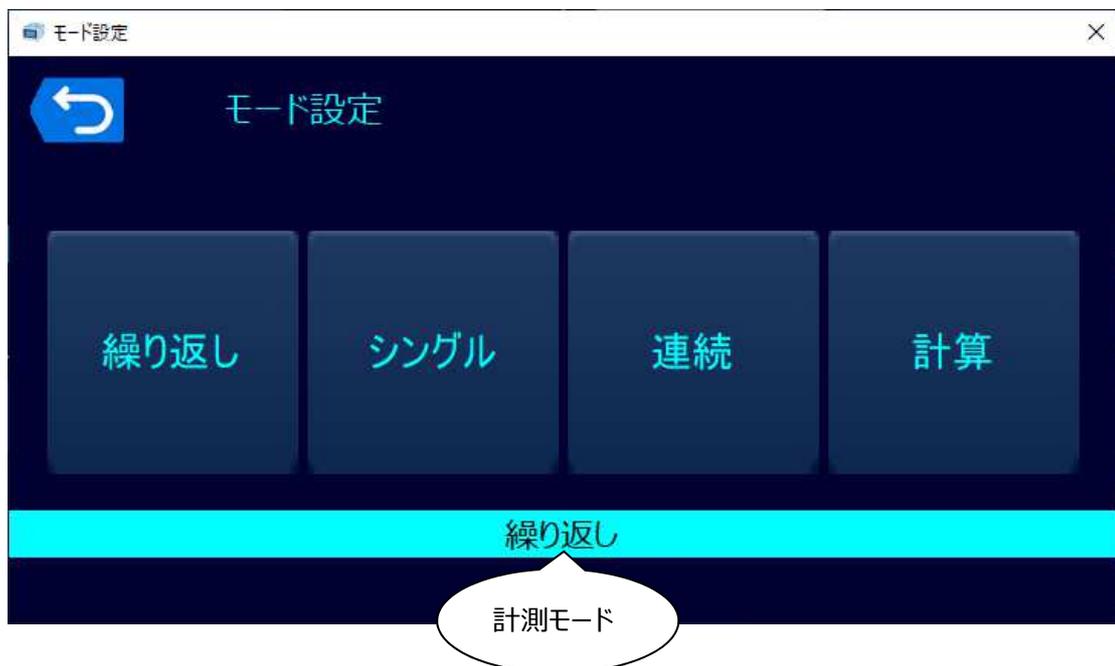


図 12-3 モード設定画面



図 12-4 個別計測設定ボタンクリックから遷移時のウィンドウ名表示

説明：

1) ボタン機能



：繰り返しモードの設定を行う画面を表示します。



：シングルモードの設定を行う画面を表示します。



: 連続モードの設定を行う画面を表示します。



: 計算モードの設定を行う画面を表示します。



: 当画面を閉じます。

12.2 計測モード

モード設定画面を個別計測設定ボタンから表示した場合は、ウィンドウ名に IP 情報か ID 情報が表示されます。この場合、該当する画面の計測設定のみを設定できます。

モード設定画面を一括計測設定ボタンから表示した場合は、全ての画面の計測設定を設定できます。

1) 繰り返しモード

計測モード設定画面の繰り返しボタンをクリックします。図 12-5 が表示されます。



図 12-5 繰り返しモード

1-1) パラメータ設定

項目	内容	備考
場所	1—99	入力可能
計測時間	0分6秒—99分59秒	入力可能
繰り返し回数	2—9999	入力可能
繰り返し間隔	0分6秒—99分59秒	入力可能

1-2) ボタン機能



: 設定をキャンセルし、当画面を閉じます。



: 設定を保存し、データ表示ソフトウェア：計測画面を表示します。

2) シングルモード

計測モード設定画面のシングルボタンをクリックします。図 12-6 が表示されます。

計測モード設定

シングルモード

場所 (1-99) 2

計測時間 (6s-99m59s) 0 分 6 秒

図 12-6 シングルモード

2-1) パラメータ設定

項目	内容	備考
場所	1-99	入力可能
計測時間	0分6秒-99分59秒	入力可能

2-2) ボタン機能



: 設定をキャンセルし、当画面を閉じます。



: 設定を保存し、データ表示ソフトウェア : 計測画面を表示します。

3) 連続モード

計測モード設定画面の連続ボタンをクリックします。図 12-7 が表示されます。

計測モード設定

連続モード

場所 (1-99) 3

図 12-7 連続モード

3-1) パラメータ設定

項目	内容	備考
場所	1-99	入力可能

3-2) ボタン機能



: 設定をキャンセルし、当画面を閉じます。



: 設定を保存し、データ表示ソフトウェア：計測画面を表示します。

4) 計算モード

計測モード設定画面の計算ボタンをクリックします。図 12-8 が表示されます。

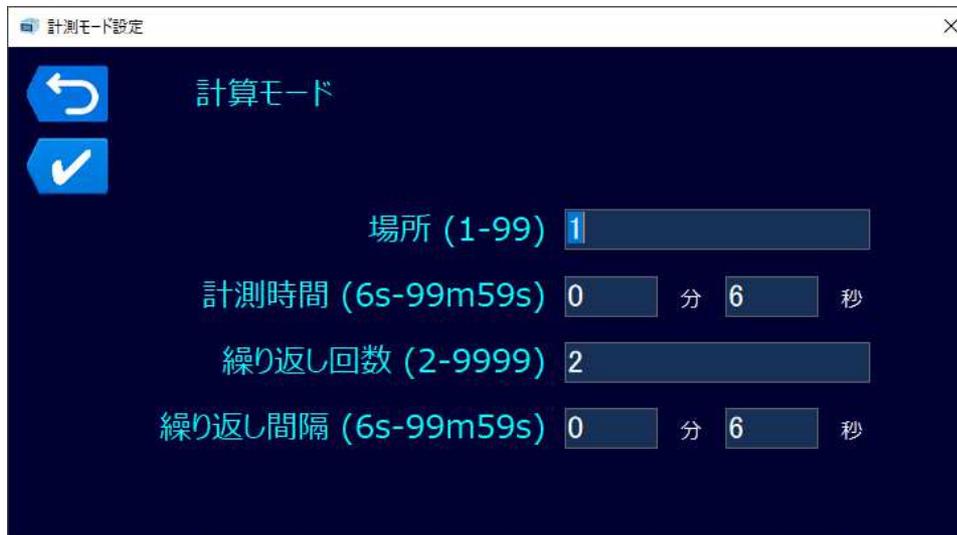


図 12-8 計算モード

4-1) パラメータ設定

項目	内容	備考
場所	1-99	入力可能
計測時間	0分6秒-99分59秒	入力可能
繰り返し回数	2-9999	入力可能
繰り返し間隔	0分6秒-99分59秒	入力可能

4-2) ボタン機能



: 設定をキャンセルし、当画面を閉じます。

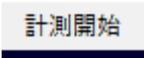


: 設定を保存し、データ表示ソフトウェア：計測画面を表示します。

12.3 計測開始



計測開始

ボタン、または、 ボタンを押すと、計測を開始します。

12.4 計測終了、停止



計測停止

ボタン、または、 ボタンを押すと、計測を停止します。

計測画面の保存チェックボックスにチェックが入っている状態で、計測画面の計測設定による計測が終了、又はボタンにより計測を停止すると、有効な保存データがある場合、ファイル保存ダイアログ出て測定データを保存することができます。（*.CSV形式）

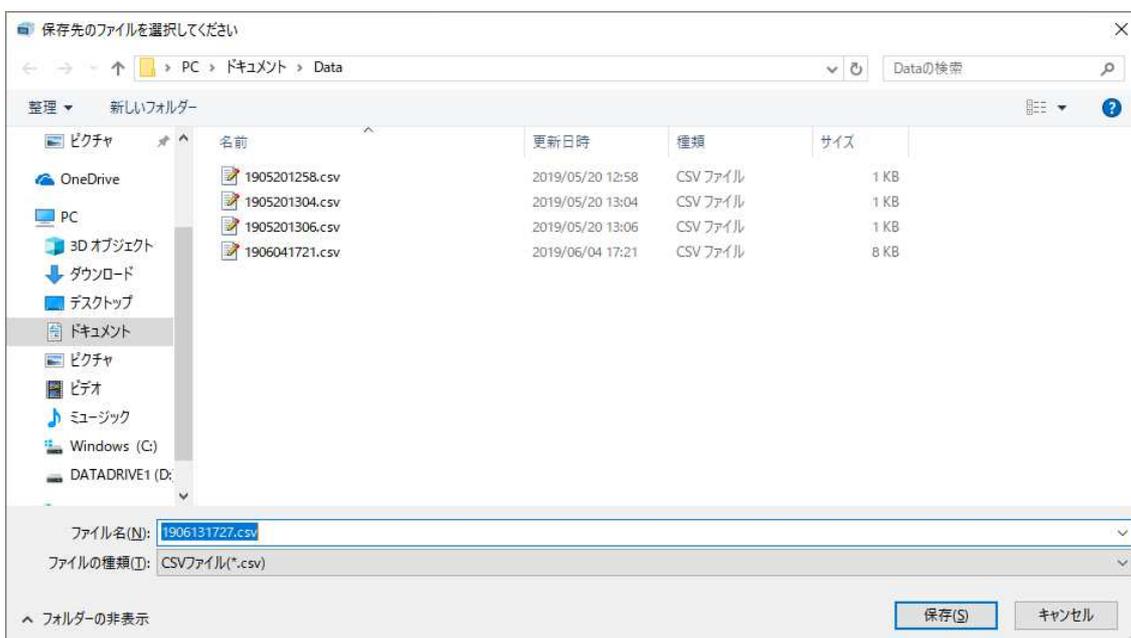
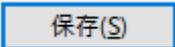
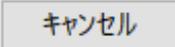


図 12-9 ファイル保存ダイアログ

説明：

 保存(S)

：データファイルを保存します。

 キャンセル

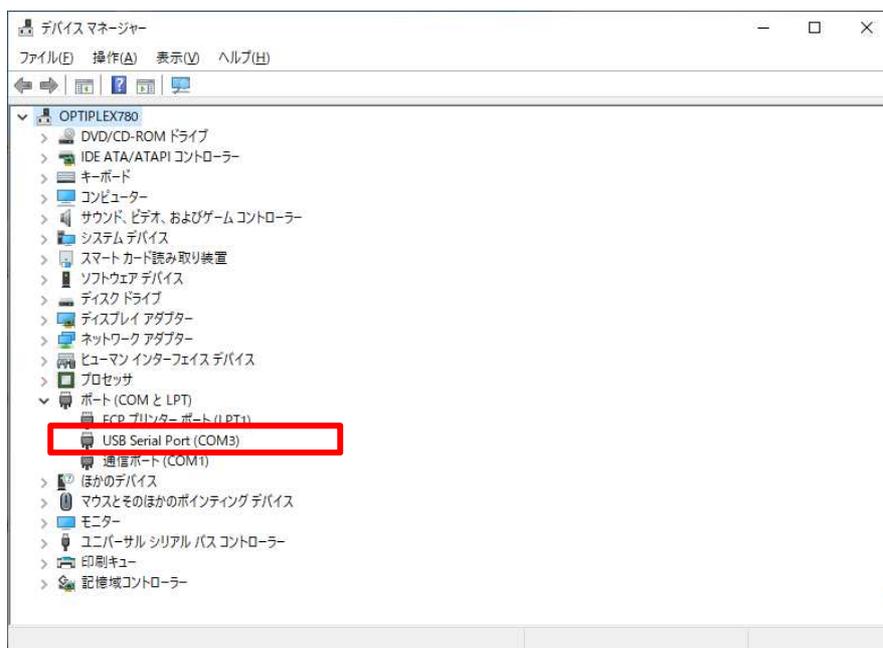
：キャンセルします。

第13章 困ったら

RS485-USB 変換ケーブル(以下、変換ケーブル)を使用して計測したときに通信エラーが多発した場合、変換ケーブルのデバイスドライバ設定を変更することで通信エラーを回避できることがあります。

(例)FTDI チップ製の USB-RS485 変換ケーブルをご使用の場合

- ・デバイスマネージャーを開きます。

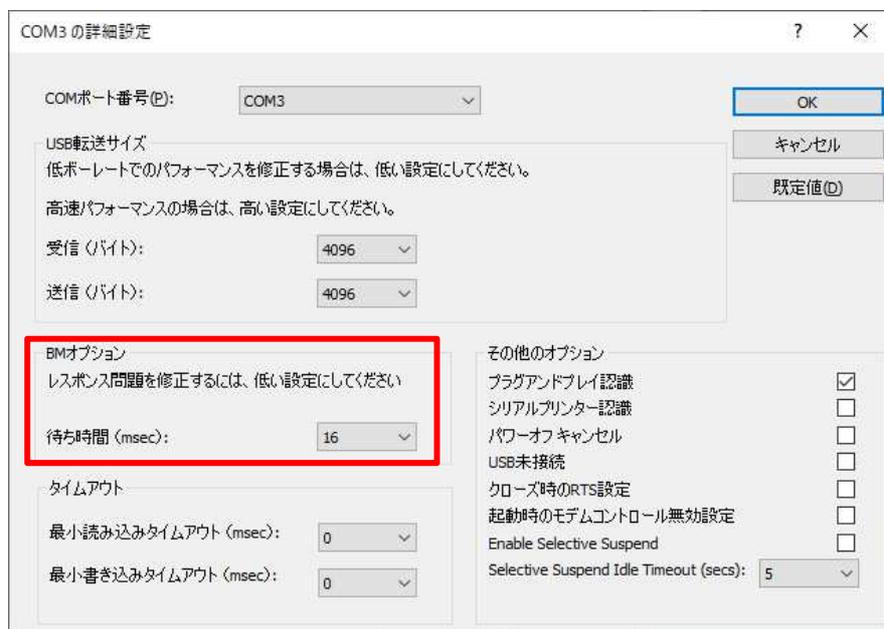


- ・「ポート(COMとLPT)」を展開して「USB Serial Port(COMx)」を右クリックします。
メニューから「プロパティ」を選択してクリックします。
- ・「ポートの設定」タブから、詳細設定ボタンをクリックします。



・詳細設定画面が開いたら、「BM オプション」の「待ち時間」を 16msec から 1msec に変更して「OK」をクリックします。

プロパティ画面を閉じて設定を終了します。





日本カノマックス株式会社

〒565-0805 大阪府吹田市清水2番1号

この製品に関するお問い合わせ

環境計測事業部 カスタマーサポート

TEL 0120-009-750

E-mail: environment@kanomax.co.jp

修理に関するお問い合わせ

サービスセンター

TEL 0120-981-959

E-mail: service@kanomax.co.jp

□ 東京営業所

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目6番2号

TEL: (03) 5733-6023 FAX: (03) 5733-6024

□ 大阪営業所

〒565-0805 大阪府吹田市清水2番1号

TEL: (06) 6877-0447 FAX: (06) 6877-8263

□ 名古屋営業所

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-7-26 丸の内ACAビル 603号室

TEL: (052) 952-5660 FAX: (052) 952-5661

©日本カノマックス株式会社 2019

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断り無く変更することがあります。



KANOMAX
The Ultimate Measurements